



## 刈谷市において5年間で名古屋ドーム 1.1 個分の田畑が減少!

### 刈谷市農業資料

年度	2011	2015	2018	2020
戸数	2125	1864	1706	1613
田 (ha)	996	978	951	919
畑 (ha)	304	292	271	265
生産量目標 (トン)	4244	4244	4244	4244

## 刈谷市の人口動態の変化

Q 刈谷市民の声 | 検索

### 刈谷市の児童・生徒の人口動態、及び就学援助の割合

	小学校	中学校	合計	就学助成	就学助成	合計
2020年度(人)	8583	4101	12684	447	332	779
2015年度	8335	4329	12664	395	298	698
2013年度	8428	4552	12980	392	312	704

●農業就業人口 2001年 382万人 2021年 130万人 新規就農者数 2020 53700人

農業就業者平均年齢 67.8歳 1ha=3025坪 名古屋ドーム 31596坪

2015年度と2020年度を比較すると農地面積は-116ha減少、名古屋ドーム1.1個分減少

※刈谷市決算資料、農水省の資料より

増加上位3校	2015年度	2020年度	増減	就学援助割合(2020年度)			
1 亀城(人)	541	650	109	1 亀城(%)	1.53	1 かりがね	8.82
2 富士松南	680	755	75	2 衣浦	2.40	2 東刈谷	7.83
3 かりがね	823	884	64	3 富士松北	2.51	3 富士松東	7.29
減少上位3校	刈谷市で児童数が増え始めました!						
1 東刈谷	730	664	-66	刈谷市決算資料より			
2 富士松東	472	425	-47				
3 平成	439	403	-36				

※就学援助は、公立小中学校へ就学させるため、経済的な理由でお困りの方に、学用品費や学校給食費などを援助する制度です。

## 子ども達の経済格差・生きづらさが拡大

減少傾向が続いていた子どもの人数ですが底打ちの兆しが見えて来ました。児童数が増え始めたことは大変良い傾向です。しかし、小学校区のエリア別で見ると増減の違いがあります。街は生き物ですから人口動態を見ると街の変化が読み取れます。また、エリア別で子ども達の経済状況の違いがあることも分かります。この10年で子ども達の経済格差や生きづらさが拡大しました。数十億円も掛かる刈谷城建設を止め!子育て、教育に税金の再配分をすべきです!

## 田んぼは大切!

刈谷市も毎年高齢化等の影響により毎年11haの田畑が耕すことが出来なくなり営農さんに集約して頂いています。田んぼはお米という人のエネルギーを生産しているだけではなく、気温の調整、洪水を防ぐ、水を綺麗にする。生物の多様性を育む、地下水を作るなど多くの機能があります。今、農業を見つめ直す時期が来ました。食料自給率を上げるためには放棄農地の一部国有化も必要かもしれません。

## 腹ペコを無くせ!子ども食堂を活用して食料支援を!

日本の食料自給率は38%にも拘らず日本の食材ロス(令和2年度)は年間522万トン(家庭系247万トン、事業系275万トン)国民1人あたり年間約41kgです。この食材ロスを上手く活用すれば世の中から「腹ペコ」を減らすことが出来ます。子ども食堂は全国で6000以上になりました。子ども食堂には全国のフードバンクより食べ物が集まります。子ども食堂のネットワークを活用して食料支援を行えば「食材ロス」と「腹ペコ」を減らすことも可能だと考えます。刈谷市で子ども食堂が食糧支援を行なっています。

●刈谷モデル フードバンク等→子ども食堂ほっとライス→食料支援

刈谷市議会議員 VOL.25  
**上田まさや**活動報告  
 みんなでつくろう!刈谷の未来・子どもの未来  
**まさやレポート**

上田まさや | 検索  
 since2011  
 masaya70@gmail.com

明日へつなぐ  
**食料支援事業**  
 未来へつなぐ  
**ランドセル支援事業**

一般質問映像は Q 刈谷市議会 | 検索 Q ほっとライス | 検索  
 ※映像がスマホ対応になりました。

子ども食堂ほっとライス  
 お問い合わせ masaya70@gmail.com